事例
# 8

## 自分を知ろう ～ 相談して 知らない自分を再発見

### 自分はこういう人間だ、と<br>思いこまないようにしましょう。

人間の「強みと弱み」は「表と裏」の関係です。「弱み」と思っていることも、しっかり自己分析すれば「強み」になります。

異文化の日本で、何が強みになり、何が弱みになるのか･･･もう一度、自分自身を再評価してみましょう。そして、自分のことをうまく企業に伝えることができるよう、自己アピールやプレゼンテーションの方法を工夫しましょう。

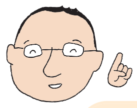
**■相談の内容**

◇ 2回生のときにインターンシップを経験し、3回生のときから企業研究を始めた。
↓ 就職活動の基本について、よく理解している。
　ただ、本人は「一人でいるのが好き。チームワークは にがて」と思っていた。
◇ 実際、面接試験は、どれもうまくいかず、失敗におわった。
　企業からは、「協調性がない」「自分の世界にとじこもっている」と受け取られたようだ。

**■助言・指導を受けて、実施したこと**

◇ 留学生と話し合っていくうち、「他人に気づかいしている自分」＝「他人の気持ちがわかり、他人に気づかいできる自分」であることがわかった。本人にとっても、新たな発見だった。
↓ そこで、プレゼンテーションを工夫することによって、そういう自分の性格や特徴をうまく表現できるようになった。
◇ 自分の姿を正確に伝えることができて、希望の企業に就職することができた。

（大学3回生　男性　東アジア）



**カウンセラーから ひとこと、ふたこと**

うっかりすると、カウンセラーも、留学生の「弱み」が気になって、むりに直そうとします。そして、裏側に「強み」が眠っていることに気づかないことがあります。

異文化の日本で、自分らしさをどう発揮するのか･･･留学生もカウンセラーも悩みます。
企業の方々には、このように葛藤（かっとう）する留学生の姿を見てほしいと思います。
留学生が新しい発想を作りだし、企業がそれを評価する･･･そのような関係になってほしいと思います。

参考

**インターンシップのプログラムを通して身につけてほしいこと・感じてほしいこと［1］**

① 日本のマナー　･･･　基本となるマナー（挨拶、服装、身だしなみ など）
　　　　　　　　　　　ビジネスマナー（敬語、来客対応、電話対応 など）
② 異文化の理解　･･･　日本と母国の文化・習慣の違い、日本企業の組織やしくみ
③ 将来への気づき　･･･　日本で働くために何を身につける必要があるか
　　　　　　　　　　　自分の成長や目標をイメージしてみる

事 例
# 9

## 自分を知ろう ～ 自分を知ってうまく伝えよう

## 質問に答えるだけでは、
## 自分の思っていることが相手に伝わりません。

企業の面接試験やグループワーク面接では、「たくさん話せばよい」ものではありません。
しかし、 何も話をしない人、 声が小さくて聞き取れない人、 質問に答えるだけの人……
こういう人は、企業から見ると「どのように評価すればよいのか、よくわからない」となります。

留学生は、 自分のことをよく観察して、 必要があれば新しい習慣を身につけましょう。

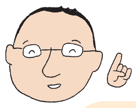
### ■相談の内容

◇ インターンシップも行い、早い時期から就職活動を始めていた。
↓ WEBで40社程度に応募し、スケジュール管理も正確だった。
↓ いくつかの企業で、3次、4次の面接まで行ったが、最終面接にたどりつくことができず、
結局、すべて不合格になってしまった。
↓ 何が悪かったのか、わからない。

### ■助言・指導を受けて、実施したこと

◇ 就職活動の進め方は模範的で、日本語能力、向上心や精神面でも、問題はなかった。
ただ、自分のことを説明するのが、うまくなかった。
↓ まじめな気持ち、相手企業に対する理解や熱意が、相手に正しく伝わるよう、話し方、受け答えの
仕方、声の出し方などについて、本人も納得しながら粘り強く指導を行った。
↓ 1年間以上、取り組んだ。
◇ 最終的に、1社の募集に絞って活動を進め、内定を得た。

（大学3回生　女性　東アジア）



### カウンセラーから ひとこと、ふたこと

話し方、受け答えの仕方など、外見的な要素は、その人の個性のひとつです。
しかし、「仕事の場面で、考えや気持ちを相手に伝えること」は、スキル（技能・技術）です。

「伝えるのが うまい／へた」の差は、スキルの差と考えてください。
個性にスキルを加えて、あなたらしいコミュニケーション法を作ってください。

参 考

**インターンシップのプログラムを通して身につけてほしいこと・感じてほしいこと［2］**

④ 就職したときの自分をイメージ
…自分の意見をわかりやすく伝える、相手の話を丁寧に聴く
現状を見て分析する、課題の解決を考える
チームで働き課題に取り組む　など

事 例
# 10

## 自分を知ろう ～「こだわり」は大切ですが･･･

### 自分の持っている「こだわり」は、
### ときどき、疑いましょう。

就職したい企業を絞り込むのは、 たいへんむずかしいです。
なぜ 私は「この企業に就職したい」と思っているのか？
自分で自分に問いかけることが大切です。
それがむずかしいときは、 他人と話し合うことも役に立ちます。
「熱意」に「冷静さ」を加えれば、 その人の力は、 ますます強くなります。

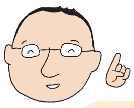
### ■相談の内容

◇ 大学で「子ども」をテーマに研究した。本人は、積極的で活動的な性格である。
↓ 大学学部のときから、保育所などでアルバイト、ベビーシッター、ボランティアなどを経験し、日本の社会常識を身につけ、日本語能力も高い。
↓ しかし、3回生から4回生にかけて就職活動をしたものの、どの企業も最終面接まで行かなかった。
↓ 大学院に進み、いま就職活動をしている。
◇ 内定をもらった企業もあるが、「子ども」に関連の深い「おもちゃ」関係の企業で働きたい。

### ■助言・指導を受けて、実施したこと

◇ 働きたい企業へのこだわりは、「子どもが好き」という理由による。
しかし、よく話し合ってみると、本人にとって大切なことは、子どもに限らず、「愛情・やさしさを仕事で追及したい」ということだと気がついた。
↓ そこで、目標にする企業の選択肢を広げて、企業研究をした。
↓ 大学院の論文とも関連づけて、会社への提案書を作成するなど、就職活動を進めた。
◇ 化粧品メーカーへの就職を決めた。

（大学院2回生　女性　東アジア）



### カウンセラーから ひとこと、ふたこと

「自分で決めた目標だから、必ずやりとげる」という姿勢は、とても大切です。
しかしその結果、目標にする企業を、せまく考えてしまう可能性もあります。

日本には良い企業が多数あります。「こだわり」が「思いこみ」にならないように、ときどき、自分以外の人の意見を聞いてみましょう。誰に意見を聞くのか･･･これも重要ですね。

参　考

自己分析をしてみよう［1］　～まず、自分を客観的に見てみよう～

＞過去のこと

自分は何を学んだか、自分は何を得たか、自分はどこが成長したか

家族から教えられたこと、学校で学んだこと、クラブ活動で得たこと
アルバイトをして学んだこと、友人から学んだこと
日本に留学したこと、いまの大学や学部を選んだこと

## 事例 11 自分を知ろう ～ 弱いところは “練習” で乗りこえよう

### 「はずかしがり」は、仕事で通用しません。
### しかし、スキルを身につければ だいじょうぶ。

性格が「はずかしがり」というのは、普通のことです。だた、仕事をするとき、「はずかしがり」だけでは、ほかの人と意見や情報をうまく交換できず、仕事もうまく進みません。

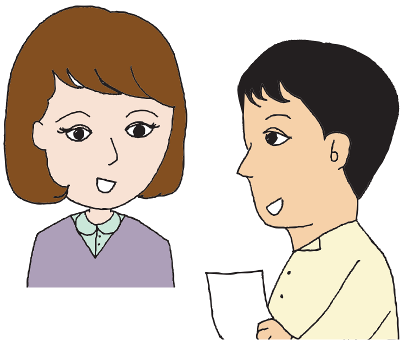
「自分の意見を 正しく伝える」「グループで うまく話し合いをする」ことはスキル（技能・技術）です。 これは、 練習によって身につけることができます。

### ■相談の内容

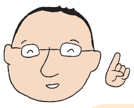
◇ アパレルに関心が高かったので、この分野に絞りこんで、着実に就職活動を進めていた。
↓ エントリーも、うまくいった。
↓ ただ、性格がとても「はずかしがり」なので、日本流の面接試験がたいへん苦手である。
◇ 面接試験は、全然自信がない。

### ■助言・指導を受けて、実施したこと

◇ 1か月間、面接練習した。そのようすを動画で撮り、自分で確認したり、カウンセラーや友人の意見を聞いて、自分の姿を客観的に観察した。
↓ 同時に、企業に対する自分の考え方や意見を紙に書き、カウンセラーと意見交換して書き直す、という作業を繰り返した。
↓ 面接試験にむけて、自信をつけた。
◇ 面接が順調に進み、目標の企業に、無事、就職することができた。



（大学4回生　男性　東アジア）



### カウンセラーから ひとこと、ふたこと

早い時期からまじめに就職活動に取り組んでいたのですが、「はずかしがり」の性格のため、 面接試験が苦手で、 何度か失敗しました。

しかし、 スキルを身につけることによって、 問題を解決することができました。
練習によって身につくことなので、 心配はいりません。

**参 考**

自己分析をしてみよう［2］　～まず、自分を客観的に見てみよう～

＞現在のこと

自分はどんな人なのか

大切なこと、物事の優先順位、好きな言葉、信念、最近の出来事や体験談、国際観・世界観など

＞3年後、5年後、10年後の自分のこと

事 例 **12**

# 自分を知ろう ～ 相談してください

## 自分で考え、自分で行動することは大切です。しかし、自分一人では見えないこともあります。

独立心、 自己判断力は、 とても重要です。
同時に、 異文化の日本でキャリアを形成するためには、 ときどき立ちどまって、
自分のまわりを見て、 自分の考えを整理することも必要です。
就職活動を進めるときも、 ときどき相談窓口に行って、 いろいろ話し合いをしてみましょう。

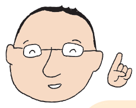
### ■相談の内容

◇ 母国で寮に一人で住むなど、早い時期から独立心が育っていた。
↓ 日本に来て、大学3～4回生のときに就職活動をしたが、うまくいかなかった。
↓ 大学院に進学。
↓ 15社にプレエントリーしたが、どの企業も、うまくいかなかった。
◇ いまは帰国も視野に入れている。しかし、引き続き、日本で就職したいと思っている。

### ■助言・指導を受けて、実施したこと

◇ これまで、就職活動がうまくいかなかった原因について、話し合った。
　また、帰国した場合のキャリア形成についても話し合い、本人の考え方を整理した。
↓ 本人は、自分の意見や気持ちをはっきり示す。それは良いことだ。
　しかし、ときどき、状況を冷静に見ることができないことがあった。
↓ 形式の面から、マナーの研修を行った。
　内容の面から、面接試験の練習を行い、考えの伝え方や言葉づかいを練習した。
↓ 母国に進出する計画をもつ中小企業から求人があったので、応募した。
◇ 社長と話をすることができ、本人の積極性が評価されて、採用された。

（大学院2回生　女性　東アジア）



### カウンセラーから ひとこと、ふたこと

就職活動がうまく進まないときは、早めに相談窓口で相談しましょう。一人で考えすぎないように。 相談すると、自分一人ではわからない問題点に気づくことが多いです。

これまで外国人留学生を採用したことがない企業も多いので、採用の手続き等について、企業側がとまどうこともあります。うまく進まないときは、相談窓口に相談してください。

参 考

自己分析をしてみよう［3］　～次に、自分について深く考えてみよう～

性格、考え方、行動のパターン
得意なこと、人に負けないこと、努力したこと
得意ではないこと、できないこと、あきらめていること

事 例
# 13

## 障害のあるかた ～ まず相談してください

**まず、京都府国際センター生活相談窓口へ。
京都ジョブパークに 関連の求人情報もあります。**

留学生に対する就職支援は、大学や行政・公的団体が行っています。ただ、障害のあるかたの就職については、これまで支援した事例や経験が非常に少ないため、これらの窓口で十分な助言や情報提供を受けられない可能性があります。
京都府国際センターの生活相談窓口まで、お問い合わせください。ご相談に応じます。

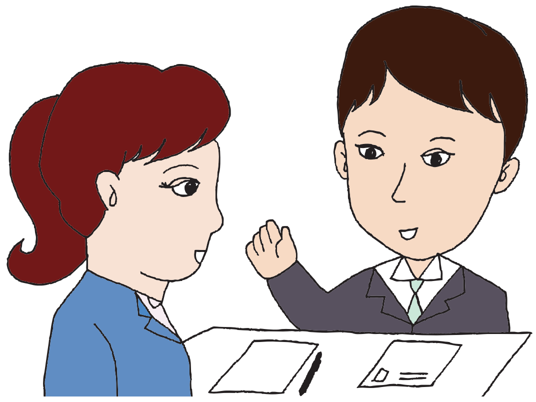
### ■相談の内容

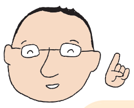
◇ 大学院在学中に病気を発症した。
↓ 病気が急速に悪化し、重度の身体障害者となった。
↓ 大学でフォローも受けているが、就職については見通しが立たない。
◇ 日本で就職したいが、通院する必要がある。就職は可能だろうか？

### ■助言・指導を受けて、実施したこと

◇ 自分のスキル、長所を明確にして、それを企業にアピールできるよう指導した。
↓ 同時に、教育機関や公的団体等に応募するよう、焦点を絞った。
↓「京都ジョブパーク　障害者向けコーナー」に、大学職員の求人情報があったので、応募した。
◇ 面接もうまく進み、就職することができた。

（大学院2回生　女性　東アジア）





### カウンセラーから ひとこと、ふたこと

京都ジョブパーク（京都市南区）には、障害者のかたの求人情報を提供するコーナーがあります。ただ、外国人留学生の就職を支援した事例が少ないので、まず、留学生の生活相談に応じている京都府国際センターに来てください。

すぐに解決することはむずかしいですが、ともに考えたいと思います。
また、相談の内容に応じて、京都ジョブパークにおつなぎします。

参　考

**京都ジョブパーク　はあとふるコーナー（はあとふるジョブカフェ）**

住所　〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町 70（新町通九条下ル）
京都テルサ西館 3 階
電話　075-682-8029　FAX　075-682-8043
E メール　heart@kyoto-jobpark.jp

事例 14

# 転職は慎重に ～ キャリアのレベルアップを考えよう

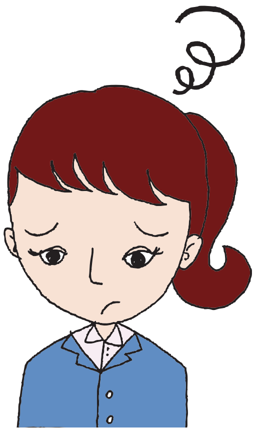
## 「いまの会社に不満がある」だけでは 転職することはむずかしいです。

「転職」と思うのは、 多くの場合、「いまの会社・仕事に不満があるとき」 です。
しかし、 転職は、 あなたのキャリアのレベルアップにつながる必要があります。
時間をかけて、 ゆっくり慎重に考えてください。

今の会社をやめてから次の会社を探すと、 日本での在留が難しくなることがあります。
注意しましょう。

### ■相談の内容

◇ 大学を卒業して、就職して2年たつ。
↓ 会社の組織や担当業務のことが、わかるようになった。
↓ しかし、自分が得意な外国語による業務は、
いつまでたっても日本人の「補佐役」である。
↓ 「自分が業務を担当すれば、もっと効率的に
進めることができるのだが・・・」といつも思う。
◇ 転職して、もっと自分の能力をいかしたい。



### ■助言・指導を受けて、実施したこと

◇ 転職することを頭に入れつつ、そのまま仕事を続けた。
↓ 時間をみつけて、どの企業に転職するか、目標の企業を探し、研究した。
↓ 中途採用にエントリーし、会社見学もした。しかし、正式な応募には至らなかった。
↓ あるとき、母国に関するイベントに行った。その会場で、母国とビジネスをする企業のかたと出会い、
「中途採用を受けてみないか」と言われた。
↓ その企業について、情報を集め、研究し、中途採用に応募した。
◇ 無事、中途採用が決まった。
さきに働いていた企業に、退職を申し出て、承諾された。　（就職2年目で再就職　女性　東ヨーロッパ）

### カウンセラーから ひとこと、ふたこと

「中途採用」は、「新規採用」とはちがいます。いまの会社で何ができたのか、何を身につけたのか・・・そのことを整理して進める必要があります。

どの企業に転職するのか・・・急がずに、時間をかけて考えましょう。ときには、幸運を待たなければいけません。

参考

「転職」が頭に浮かんだときの注意点［1］

① やめる前に相談する
② キャリアをレベルアップするプランを作る
③ 中途採用では、すぐに仕事のできる経験者が採用される
④ いまの仕事で得た知識、スキル、実務経験が重要である
⑤ 転職する目的は「給料アップ」だけではだめである

「転職」は、「いまのキャリアをいかすことのできるもの」になるように、考えましょう。

事 例
# 15 転職は慎重に ～ 冷静に考えてください

## いまの会社で働く自分の姿を
## もう一度、よく見ましょう。

「転職」するための就職活動は、 熱意だけでは、 うまく進みません。
「転職したい」と思ったときは、 もう一度、 いまの会社で働く自分の姿をよく見てください。

そのとき、 自分一人で考えると、 思いこみ、 不平・不満、 大きすぎる自信などがあって、
冷静に考えられないことがあります。 できるだけ、 相談窓口で相談しましょう。

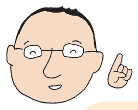
### ■相談の内容

◇ 大学を卒業して、就職して1年半がたつ。
↓ 会社の組織や担当業務のことが、よくわかるようになった。日本語もうまくなった。
↓ しかし、自分の自由な時間が持てないのが悩みである。
◇ 転職して、仕事と生活のバランスを、もう少し良くしたい。

### ■助言・指導を受けて、実施したこと

◇ 1年程度の経験は、まだ不十分である。いまは、まだ、学習の途中である。
　まず、いまの仕事を続けることが必要である。
↓ 時間をかけて、自分の希望にあった求人情報を探すことにした。
↓ ある求人情報を得た。「アルバイト」の求人だった。
　社員として採用してもらうために、自分の実績、能力、熱意をアピールすることを決意した。
↓ レポートを書くなど、準備を整えて、会社と話を進めた。
◇ 社長の理解を得ることができて、採用が決定した。
　さきに働いていた企業に、退職を申し出て、承諾された。

（就職後1年半で再就職　男性　東ヨーロッパ）



### カウンセラーからひとこと、ふたこと

自分の考えをまとめるときは、まず、文字・言葉で書いて、何度も読みましょう。
そして、できるだけ、誰かに相談しましょう。

あなたが、次に就職したい会社に「いまの会社に対する不満」を伝えても、次の会社は
あなたを採用したいとは思いません。
あなたの能力と熱意、そして、いまの会社であげた実績。これが、必要です。

参 考

「転職」が頭に浮かんだときの注意点［2］

⑥ あなたは、転職する企業に、どのように貢献できるか、考えよう
⑦ あなたは、いま働いている企業にどれだけ貢献したか、考えよう
⑧ あなたは、いま働いている企業で、情熱をもって努力してきたか、考えよう
⑨ あなたは、ひとに信頼される人物なのか、責任感ある人物なのか、考えよう

事例 **16**

## 在留資格のことを考えよう ～ 慎重に考えてください

## 日本語学校にかよう留学生は、就職活動をするとき、学校をやめずに、まず相談してください。

日本語学校にかよう留学生が、日本で早く就職を決めて仕事をしたいと思っても、学校をやめて就職活動をすることは、ふつう、むずかしいです。在留資格制度があるからです。多くの場合は、学校にかよいながら就職活動をする必要があります。

不可能ではありませんが、限られた時間で就職活動しますので、大変むずかしいです。

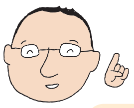
### ■相談の内容

◇ アルバイトをしても、日本語学校の授業料を払って生活することは、経済的に大変だ。
◇ 日本語学校1年間コースを半年で終了して、早く就職したい。可能かどうか？

### ■助言・指導を受けて、実施したこと

◇ 日本語学校にかよいながら、企業との交流会に参加するなどして、自分の日本語能力にあった仕事を探した。
↓ 目標を設定したことで、勉強にも集中することができた。
↓ 日本語能力も向上した。
↓ 幸運なことに、半年が過ぎたとき、1社から、英語で外国と連絡・交渉する業務のため、社員の募集があった。
◇ 企業と話を進め、内定を得た。
日本語学校を途中で終了して、会社に就職した。

（日本語学校　男性　東ヨーロッパ）



### カウンセラーから ひとこと、ふたこと

日本語学校をやめると、ふつう、日本に在留する資格をなくすことになるので、注意が必要です。学校をやめる前に、在留資格について、専門家（入国管理局届出済行政書士等）に相談しましょう。

日本で就職するためには、日本語能力はとても重要です。
日本語学校をやめると、次の苦労がとても大きいものになります。
・日本語を自分一人で勉強しなければいけない苦労
・同時に 就職活動をしなければいけない苦労
これらを乗り越えるためには、大きな決心と行動力が必要です。

また、日本語学校は、基本的に、大学や専門学校に進むために日本語を学ぶところですので、就職に関する情報が少ないということも、頭に入れてください。

あ と が き

日本で勉学にはげむ外国人留学生の方々は、自身の素養を高めるだけではなく、日本における多文化共生の推進や国際関係の改善にも大きく寄与していると思います。異文化の地で勉強し生活しキャリア形成することは決して容易なことではありませんので、私たちは、日本で生活し人生を歩む留学生を大いにサポートしたいと思っています。私たちが、留学生から話を聞き相談にのりカウンセリングを行うときにいつも感じることがありますので、この機会に記したいと思います。

＜留学生に対して＞

① 「相談」が大事です。何事も、事後に相談するのではなく、事前に相談してください。なぜなら、先に相談することによっていろいろな方向が見えます。また、相談しているうちに、自分のことや企業のことが、とてもよくわかってきます。

② 最後まであきらめないでください。

＜大学関係者に対して＞

① 留学生が入学したときから、継続的にキャリアプランを作成するよう、助言をお願いしたいと思います。根気よくお願いします。

② さまざまな情報が留学生の手元に確実に届くよう、配慮をお願いしたいと思います。

＜企業に対して＞

① 留学生に対して、さらに大きなチャンスを与えてほしいと思います。

② 留学生が入社した後のフォローをお願いしたいと思います。

＜留学生をサポートするカウンセラーに対して＞

① 留学生の能力を信じましょう。そして、その能力を引き出すことに専念しましょう。

② 留学生を一方的に指導するのではなく、共に歩みましょう。

京都府国際センター 外国人留学生等支援員

## 外国人留学生等のための支援相談窓口

Email：counsel@kpic.or.jp　TEL：075-342-0088　場所：京都府国際センター

無 料

### 水・土・日曜日

### 午前10時～午後5時（休館日を除く）

外国人留学生等が京都を好きになって住んで学んでもらえるよう
国際センターの支援員がサポートします（日本語）。

生活相談、日本での将来のことを考えた自己啓発、日本で就職した
先輩との交流希望など、幅広いご相談に応じます。

必要な場合は、英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、
スペイン語等の通訳を手配できます。（予約・日程調整が必要）

## 外国人留学生等のための **ビザ相談**

協力 / 京都府行政書士会

- 在留資格の変更や更新などについて、専門家が相談に応じます。秘密を守ります。
- 場所：京都府国際センター　京都駅ビル9F
- 予約が必要です。（Eメール、FAXにて受け付けます。）

できる限り、相談日の1週間前までに申し込んでください。
名前、TEL、FAX、国籍、性別、在留資格、在留期限、
相談内容（具体的に書いてください）、通訳が必要かどうか、
必要な場合は、その言語。
＊ 言語によっては、希望の相談日に通訳の調整がつかない場合もあります。

毎月 第4日曜日（だい にちようび）
13:00–16:00
無料 むりょう
30分/1回

申し込み　FAX 075-342-5050　E-mail main@kpic.or.jp　URL http://www.kpic.or.jp/


公益財団法人 京都府国際センター
Kyoto Prefectural International Center

URL　http://www.kpic.or.jp/

〒600-8216　京都市下京区烏丸通塩小路下ル　京都駅ビル9階
TEL　075-342-5000
FAX　075-342-5050
Email　main@kpic.or.jp


本冊掲載のテキスト、イラストの無断転載を禁じます。

3-1512